


 ともそだ
 子育ては共育て

校長 菊地 恵美子

11月は、なかいち祭り、持久走大会、授業参観と、PTA役員の皆様をはじめ保護者の皆様にご協力をいただきながら、子供たちが楽しみにしていた行事を行うことができました。大変ありがたく、感謝申し上げます。なかいち祭りでは、子供たちの笑顔溢れる一日となりました。持久走大会では、最後まであきらめずに頑張る姿がたくさん見られ、「やればできる」という自信につながったことと思います。また、「なかいち応援団」の方々のご協力で、5年生の校外での写生や電動のこぎりでの図工の作品作り等が、安全・安心に実施することができました。ありがとうございます。これからも、保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら、体験活動を充実させていきたいと思っています。さらに、学校へご協力いただくだけでなく、学校から地域へ協力できることも考えています。地域の花壇の花植えに、保護者の方や子供たちが参加したという話も伺いました。来年度から実施のコミュニティースクールを見据え、学校と地域が共に元気になれるよう、準備していきたいと思っています。

さて、今、学校では、タブレットを使用して考え方の交流をしています。授業参観でご覧になった学級もあったことと思います。これまでは、自分の考えをホワイトボード等に記入し、黒板に貼って説明をしていました。今は、考えを書いたノートを写真に撮り、それを共有して説明します。全員の考えを見ることができるので、多様な考え方やよりよい考え方を効率よく学ぶことができます。また、「プログラミング学習」にも力を入れており、理科でロボットを動かしたり、算数で図形を描いたり、図工でデザインした図形を動かしたりして学んでいます。「超スマート社会Society5.0」は現実味を帯び、世の中はどんどん進化しています。ICT活用技術を身に付けさせながら、基礎・基本の「語彙の理解、文章の構造的な把握、読解力、計算力、数学的な思考力」を重視し、変化の激しい時代にも、周りの人々と協働し、自分らしく生きていける力を付けていきたいと思っています。

最近、「そしてバトンは渡された」(瀬尾まいこ作)を読みました。幼い頃に母親を亡くした主人公優子が4人も親が代わる中で成長していく話ですが、そこには秘密があって、最後は感動が待っています。この話の中で、とても心に残った言葉があります。それは、最後の父親が母親と結婚するときに母親から言われた言葉です。「優子ちゃんの母親になってから、明日が2つになったって。…自分の明日と、自分よりたくさんの可能性と未来を含んだ明日がやってくるんだって。親になるって、未来が2倍になることだよ。」子育ては、思い通りにいかず、悩み悩みの毎日かもしれません。でも、振り返ってみれば、お子さんからたくさんの感動をプレゼントされていたのではないのでしょうか。父親はこうも言っています。「優子ちゃんが笑顔を見せてくれるだけで、こうやって育っていく姿を見るだけで十分だと思える。」私も、毎日、たくさんの子供たちの笑顔に囲まれて、とても幸せです。お子さんが2人いれば3つ、3人いれば4つの明日です。467人の明日を楽しみに、本校職員一丸となって「楽しく、一人一人が輝く学校」づくりに力を注いで参ります。ご協力のほどよろしく願いいたします。

12月・1月の予定

- 1日(木): 火曜日課6時間授業
- 5日(月): 5時間授業～9日
- 6日(火): **弁当の日**
- 14日(水): いのちの授業(4年生)
- 20日(火): **弁当の日**
- 21日(水): 薬物乱用防止教室(5・6年生)
- 22日(木): 金曜日課、がん予防教室(6年生)
- 23日(金): 木曜日課5時間授業、終業式
- 1/10(火): 3学期始業式、集団登校～20日
- 1/12(木): 学力診断テスト①(4～6年生)
- 1/13(金): 学力診断テスト②(4～6年生)

